

演 題 名 自分の思いを言葉で伝えたい～「おめでとう」をビデオレターにて～

施 設 名 介護老人保健施設 ライフサポートひなた

発 表 者 ○発表者 川本 裕幸(介護福祉士)
・鶴田 深益(介護福祉士)・李 芹(看護師)・綾部 綾乃(作業療法士)
・田淵 かおる(言語聴覚士)・岩屋 浩代(介護支援専門員)

概 要

【はじめに】

日常生活の中で次男様の結婚の知らせが入った。コロナ禍という事もあり、結婚式に参加する事は出来ず。出来る事はないかと考え、「ビデオレターはどうか。」との提案を本人にしてみると「やりたい。」と頷かれた。

そこで、次男様に思いを伝える為に多職種にて一致団結し、ビデオレターを作成する事にした。ここに活動内容を報告する。

【症例紹介】

I様 60代女性 要介護5

既往歴：感染性心内膜炎 肺炎球菌性髄膜炎
化膿性脊椎炎 僧帽弁逆流症術後 脳梗塞
(右不全麻痺、失語症) 大動脈弁閉鎖不全
急性心不全 MMSE=21/30 最長発声持続時間=5秒

運動性失語症にて単語レベルのコミュニケーションは可能。右不全麻痺あり、非麻痺側上下肢、頸部と体幹の筋力低下が著明で基本動作は介助要する。リハビリ目的で当施設に入所の運びとなる。

【治療(ケア)計画】

- ①家族にビデオレターの提案
- ②多職種でビデオレター撮影に向けた話し合い
- ③歩行訓練
- ④発語訓練
- ⑤撮影日当日

【経過】

①家族にビデオレターの提案を行う。「ありがとうございます。」との声聞かれる。又、家族より「結婚式に着る予定だった衣装があります。」と言われたので、撮影日に持って来て頂く様に日程調整行う。

②介護、看護、ケアマネ、リハビリ(PT, OT, ST)にてビデオレターの構成について話し合いを行う。歩行訓練を頑張っている様子も撮影した方が良いのではとの意見あり。

③基本車椅子ベースで過ごされているが、介護、看護スタッフにて生活リハビリで食席からトイレまで歩行器で歩く訓練を開始。

④撮影日の1カ月程前からビデオレターに向けたリハビリを開始。メッセージ内容の提案を本人にしながら、STと一緒に考える。週3回のリハビリの中で短文を読み上げる練習(姿勢や呼吸等)を行う。

⑤撮影日当日、介護スタッフにて結婚式用の衣装に更衣、お化粧道具に関しては女性スタッフに持参して頂き、女性スタッフにてお化粧を実施。歩行訓練とメッセージを伝えている様子の動画撮影を行う。

【結果】

2022年11月に動画撮影を行う事が出来た。結婚式用の洋服に着替えて、お化粧をすると、普段とは全く違う表情で、まさに「凛とした母親の顔」に見えた。STの日々の発声練習もあり、動画撮影の際には、今までで一番はっきりとした力強い声でメッセージを伝えていた。

ビデオレターが完成し、無事に次男様ご夫婦に手渡す事が出来た。

【考察】

自分のやりたい事などを上手く伝える事が出来ないご利用者に対しても日々の親身な対応を心掛ける事で、本人が望んでいる事をこちらが汲み取る事が出来た。実際、今回の事例では居室担当がビデオレターを提案した事から始まっている。今後も、日々の関りを大切にし本人が望む生活や、やりたい事の実現に向けてアワーチームで取り組んでいきたい。